

山梨県スポーツ推進計画 改定案の概要

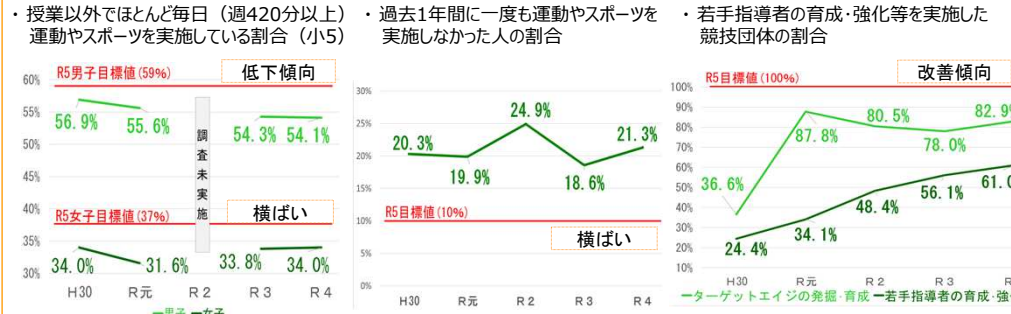
本計画について

- 1 スポーツ推進計画
「スポーツ基本法」及び「山梨県スポーツ推進条例」に基づくスポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための計画
- 2 計画の改定
現行計画の期間が令和5年度までであり、現行計画の数値目標の達成状況や社会情勢の変化などを踏まえ、計画を改定
- 3 計画期間
県総合計画・国スポーツ基本計画の計画期間に合わせ、令和6年度から令和8年度までの3年間

社会情勢の変化

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響からの脱却
- ・ 東京オリンピック・パラリンピックの成果継承（多様な主体によるスポーツ参画・共生社会の実現など）
- ・ スポーツの成長産業化の推進
 - ・ 令和14年の国スポ・全スポの本県開催内々定 等

現行計画の数値目標の達成状況



新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う行動制約の影響もあり、数値目標は未達成の状況

改定後の計画の構成

基本理念		『だれもが、いつでも、どこでも スポーツに親しめる豊かなやまなしをつくる ～ 「する」「みる」「ささえる」スポーツのさらなる推進！ ～ 』				
基本方針		基本方針の考え		政策項目		
I	子どものスポーツ機会の充実	子どもにとって、スポーツは豊かな人間性を育む基礎となり、「生きる力」を身に着ける重要な要素 ⇒ 子どものスポーツへの関心を高め、スポーツに接する機会を充実	➡	1 子どもの運動時間の増加と体力の向上 「目指せやまなしチャンピオン事業」「健康・体力づくり一校一実践運動」等	2 運動部活動改革の推進 「学校長の運動部活動の活動方針策定・公表」「部活動指導員等の任用拡充」等	
II	身近にスポーツを楽しむ習慣の定着	スポーツは心身の健康の保持・増進に大きな効果があるほか、スポーツを通じた地域活動によりコミュニティの活力向上にも大きく寄与 ⇒ 身近にスポーツを楽しむ習慣の定着を促進	➡	1 一人一スポーツの推進 「ちよいとプロジェクト推進」「スポーツ少年団活動のリーダー養成」等	2 地域スポーツを推進する体制の充実 「総合型地域スポーツクラブの活動支援」「地域スポーツ指導者の養成」等	3 スポーツにアクセスできる環境の充実 「やまなしスポーツ情報ネットの充実」「スポーツボランティア等への参画拡大」等
III	スポーツによる共生社会の実現	明るく豊かな社会を築くためには、お互いを尊重し、自分らしく活躍できる環境を整えることが必要 ⇒ 性別、年齢、障害や疾病の有無、国籍などにかかわらず、様々なスポーツを楽しみ、人と人が交流できる機会の創出を通じ、個性を理解し、互いに支え合う共生社会を実現	➡	1 誰もがスポーツに親しめる機会の創出 「バラスポーツセンター整備」「バラスポーツ指導員育成」「スポーツによる国際交流」等	2 多様なスポーツに触れる機会の創出 「アーバンスポーツなど若者に人気のある新しいスポーツの普及促進」等	
IV	自らの可能性に挑戦する選手への支援	県民がスポーツを通じて自らと向き合い、可能性を信じ、持てる力を最大限に伸ばしていくことは、県全体の底上げに大きく寄与 ⇒ アスリートセンターの視点に立ち、自らの可能性に挑戦する選手を支援	➡	1 「次世代」につなぐ戦略的な人材創出 「適性のある競技とのマッチングによるジュニア選手の発掘・育成」等	2 アスリートを支える指導体制の充実 「若い世代の指導者の確保・養成」「ジュニア世代からの一貫指導体制の充実」等	3 スポーツに専念できる環境の向上 「スポーツインテリジェンスの向上」「アスリートに対する心身の安全・安心の確保」等
V	スポーツによる経済の好循環	県外から多くの参加者や観客が見込めるスポーツイベントの開催などは、地域経済の活性化に大きな効果 ⇒ 豊かな自然などの本県の強みを生かしながら、スポーツ目的の来訪者を呼び込み、スポーツによる経済の好循環を創出	➡	1 スポーツの成長産業化 「アウトドアアクティビティの充実」「集客性の高いスポーツイベントの開催促進」等	2 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催 「県民の豊かさにつながる持続可能な大会運営」「スポーツを通じた共生社会の実現」等	3 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成果の継承 「豊かな自然を生かしたサイクルスポーツの振興」「トップアスリートの合宿受け入れ」等